

地域公共交通に関する市民の意識・実態調査の概要

1 目的

地域の特性や実情、及び移動ニーズに即した持続可能なまちづくりにおける地域公共交通に向けて、課題を抽出し、整理するため、市民・利用者の移動特性やニーズ・要望等を把握する。

なお、調査の実施に当たっては、既存の統計資料やアンケート調査結果等を考慮し、検討する。

2 実施方法及び対象者

(1) アンケート調査

→自治会・商店会等（にじバス協議会等の参加団体）、公共施設利用者

- ・にじバス協議会・コミュニティタクシーを考える会等の参加団体を通じて、アンケート調査を実施する。
- ・公共施設の利用者に、窓口等でアンケート調査票を配布する。

(2) ヒアリング調査

→コミュニティバス・コミュニティタクシーの利用者・運行事業者、市民活動団体等

- ・駅等の主要停留所を中心に、待機している利用者へ声掛けしながら、利用目的や生活実態、要望等をヒアリングする。
- ・運行事業者に、利用実態や運行課題等について、ヒアリングする。
- ・市民活動団体等の活動・集会の場に出向き、利用状況や要望等の実態について、グループインタビュー形式でヒアリングする。

(3) ワークショップ

→市民、にじバス協議会等の参加団体

- ・にじバス協議会・コミュニティタクシーを考える会等と連携して、ワークショップを開催し、意見交換を行う。
- ・開催に当たっては、参加団体以外の市民の参加者を募り、広く意見収集を行う。

3 主な調査項目等

- ・利用状況、移動特性（目的・外出頻度・外出曜日・時間帯等）、移動ニーズ
- ・公共交通に関する満足度、要望
- ・コミュニティバス・コミュニティタクシーに係る認知度・利用実態（利用者の特性・満足度等）
- ・利用促進に係る活動・取組

4 実施時期（予定）

- ・アンケート調査：令和4年9月～12月
- ・ヒアリング調査：令和4年8月～11月
- ・ワークショップ：令和4年9月～12月（1回程度開催）